

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 15 日

事務事業名		議長交際費事務					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	099909000311
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	100101
政策体系	総合計画の施策名	0999 議会関係								市議会事務局
	政策名	09 政策外事業							課長名	
	施策名	99 議会関係							グループ	庶務議事G
	手段名	09 議会関係							担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	01	01	01	02	00	議会関係事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成17年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
議長交際費については、支出項目、支出の内容、支出金額、その他必要な事項について基準を定め、議長が各種団体等との交渉上必要と認める場合に予算の範囲内で支出する。公正で透明な議会運営を進めるため、議長交際費の支出に関する情報を桜川市ホームページで公開する。	各種団体等からの行事案内に対し議長の日程を調整、必要なものには支出基準に基づき交際費を支出。また、月別の支出状況を管理し、翌月の末日までに支出状況をホームページで公表する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
議長交際費については、議長が各種団体等との交渉上必要と認める場合に規定に基づき予算の範囲内で支出する。公正で透明な議会運営を進めるため、議長交際費の支出に関する情報を桜川市ホームページで公開する。	交際費の支出件数	件	7.00	4.00	21.00	21.00	21.00
	交際費の支出額	千円	35.00	20.00	180.00	180.00	180.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市政に関する市民、各種団体。	市民数	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
各自治会や教育、学術、スポーツ、文化、福祉などの向上に寄与すべく活動している団体と円滑な関係を構築する。	円滑な交流ができていない団体	団体	7.00	4.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	35	20	400		
	事業費計 (A)	千円	35	20	400		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
09 交際費	20			09 交際費	400	
	合計	20		合計	400	

事務事業名	議長交際費事務	事務事業No.	99909000311	所属課	市議会事務局
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 合併以前から2町1村で実施。合併後も引き続き、市議会と各種団体との円滑な関係を構築するために実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 各種団体等と円滑な関係を構築することにより、議会活動に対して理解が得られることは、市が行っていく政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 各種団体等円滑な関係を構築することにより、議会活動に対して理解が得られるので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 議長への出席依頼は、毎年度流動的であるため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 各種団体等と円滑な関係が保てず、議会活動に対しての理解が得られなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 議会の代表としての事業であり統廃合、連携はできない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 社会通念上必要と思われる最小限の支出である。また、交際費支出基準により適正に処理されている。また、業務時間においては、必要最低限の人数で効率的に行っているため削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 支出基準に基づき、公正・公平に行っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市議会議長交際費の支出基準に基づき、内容を精査し支出している。また、支出状況を管理し、翌月の末日までに市のホームページで公表することによって、公正で、透明な議会運営に結びついている。新型コロナウイルスの影響により、支出が減少している。																	
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果																	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																	
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持		○	×														
	低下	×	×	×														
(6) 事務事業優先度評価結果	成果優先度評価結果																	
	-																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>